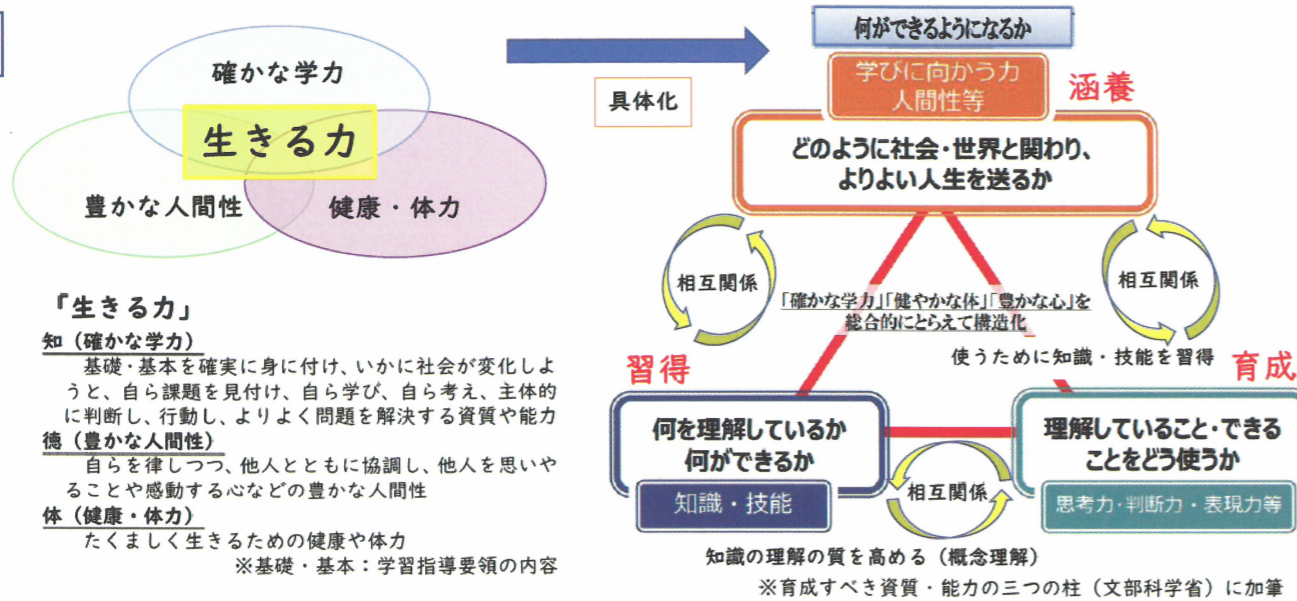


今、求められている『学力』とは

図1のように、学習指導要領の改訂により、学校教育が長年育成を目指してきた「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力が三つの柱に整理されました。

- ①何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）
- ②理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）
- ③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）

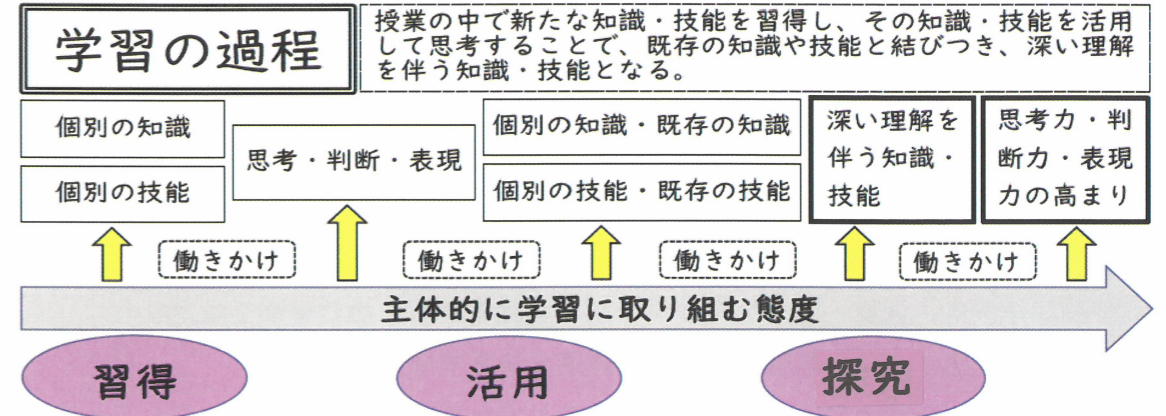
図1



「主体的・対話的で深い学び」を意図した授業デザイン例

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の関係性から『学習の過程』を整理すると図4のようになります。個別の知識及び技能の習得にとどまらず、深い理解を伴う知識及び技能を習得し、思考力・判断力・表現力等を高めることが重要です。このような『学習の過程』が単元や題材など内容や時間のまとまりの中で繰り返されます。【留意点】図4は、学習の順序を一義的に示しているものではありません。

図4



『学習の過程』について整理ができれば、単元構想に基づいた授業デザインについて考えてみましょう。下記の例のように、学習指導要領を参考に「どのような資質・能力を身に付けるか」を明確にすることで、子どもたちの学びをよりの確に見取ることができます。



学習指導要領の改訂を受け、第2期京都府教育振興プランでは「京都府の教育の基本理念」について、図2のように示しています。また、京都府教育委員会では「認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ教育の展開」について、図3のように示しています。

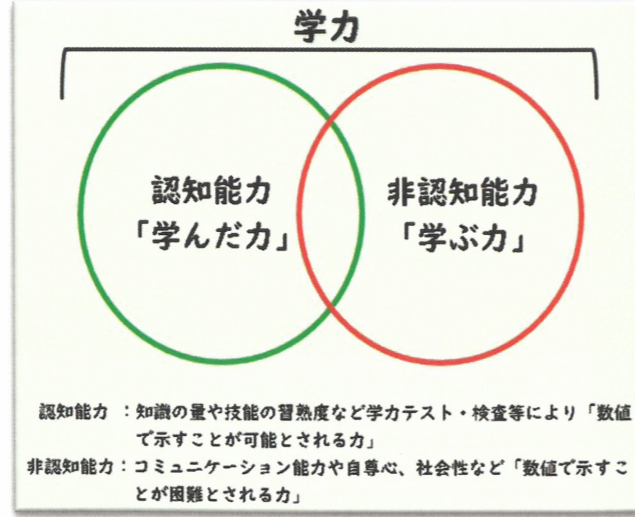
【京都府の教育の基本理念 概念】

図2



【認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ教育の展開】

図3



誰もが、周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を土台として「自己肯定感」をはぐくむことにより、上昇させられるように「主体的に学び考える力」「多様な人とつながる力」「新たな価値を生み出す力」を少しずつ身に付けながら、「目指す人間像」へと成長していく様を表しています。

予測困難なこれからの時代において、子どもたちには自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。それらの力の向上を目指して、知識や技能などの認知能力だけでなく、意欲や粘り強さなどの非認知能力をバランスよく、一体的にはぐくむことを表しています。

国語科 授業デザイン例「読むこと」(小学校中学年)

【単元のゴール】読んで感じたことや考えたことをまとめる

【単元の目標 そのために身に付けたい資質・能力】

この物語文を読むことで、児童生徒自身が他の物語を読むようになるための資質・能力を付けられるように意識する。

知・技	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	◆人物の様子や特徴を表す語句、人物などの行動や気持ち、性格を表す語句に着目する。
思・判・表	○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	◆複数の場面の叙述を結び付けながら、気持ちの変化を見だして想像する。 ◆情景と登場人物の気持ちの変化を併せて考える。 ◆自分の体験や既習の内容と結び付けて、自分の考えを形成する。
主体的な学び	○進んで、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像し、学習課題に沿って、感じたことや考えたことを文章にまとめようとしている。	◆文章中の言葉から感じたことを言葉にすることの良さがわかる。 ◆物語文の中で使われている言葉が醸し出す味わいを捉える。

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法など
1 2 3	○学習のねらいや進め方をとらえ、学習の見通しを持つ。	・登場人物、主な出来事、結末などを捉えながら読むようにする。 ・場面の様子、登場人物の言動や様子などを表す語句に着目して読むように指導する。	[知・技] 場面の様子や登場人物の言動、様子などを表す語句について着目し、語彙を豊かにしているかを確認する。
4 5 6 7	○登場人物の気持ちが大きく変化した場面はどこかについて、考えをまとめる。 ○学習課題について、友達と考えを交流する。	・物語全体の場面の移り変わりを確認し、登場人物の行動が大きく動いた場面を取り上げる。 ・登場人物の気持ちとその根拠となった言葉や文をまとめるよう指導する。その際、行動や会話、場面の状況を表す言葉などに着目するように指導する。 ・友達の意見で参考になったことを付箋でまとめるよう指示する。	[思・判・表] 登場人物の様子や行動、気持ちの変化について想像しているかを確認する。 [主体的な学び] 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像し、学習課題に沿って、感じたことや考えたことを文章にまとめようとしているかを確認する。
8 9	○初発の感想を振り返りながら、物語を読んだことに基づいて感じたことや考えたことを文章にまとめる。	・これまでの学習を振り返り、物語を読んで理解したことに基づいて、感じたことや考えたことをまとめさせる。 ・初発の感想を振り返り、どのように自分の考えが変わったのかを書くよう指導する。	[思・判・表] 文章を読んで理解したことに基づいて、既習内容と結びつけて感想や考えを記述しているかを確認する。